

平成30年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年4月13日

上場会社名 株式会社ジンス 上場取引所 東
 コード番号 3046 URL https://corp.jins.com/jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 仁
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部事業統括リーダー (氏名) 山脇 幹也 (TEL) 03-5275-7001
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	25,294	6.2	2,177	7.8	1,921	1.5	1,034	15.6
29年8月期第2四半期	23,820	10.7	2,019	70.0	1,892	67.1	894	95.6

(注) 包括利益 30年8月期第2四半期 1,087百万円(0.7%) 29年8月期第2四半期 1,079百万円(155.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	43.13	—
29年8月期第2四半期	37.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第2四半期	29,650	17,739	59.8
29年8月期	30,354	17,515	57.7

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 17,739百万円 29年8月期 17,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	36.00	36.00
30年8月期	—	0.00	—	—	—
30年8月期(予想)	—	—	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,444	7.9	6,177	14.3	5,721	9.4	3,334	20.5	139.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年8月期2Q	23,980,000株	29年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	30年8月期2Q	3,491株	29年8月期	3,491株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年8月期2Q	23,976,509株	29年8月期2Q	23,976,509株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成30年4月13日(金)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。当日使用する四半期決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年9月1日～平成30年2月28日）における国内経済は、好調な企業業績に伴う設備投資の増加、雇用環境の改善、消費者マインドの持ち直しなどを背景に緩やかな回復基調が続いております。一方、世界経済に目を向けると、各国株価指数の乱高下、米国における政策運営の行方、中国経済の動向及び地政学的リスクの存在など、我が国の景気が下押しされる懸念もあります。

国内眼鏡小売市場（視力矯正眼鏡）は、平成28年3月以降、前年同期比マイナスの傾向が継続しており、引き続き弱含みに推移しております。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、予てより経営課題と掲げている商品戦略の再構築、店舗オペレーションの改善などの取り組みを推進しているものの、平成29年3月より導入した3プライス制の新価格戦略の効果がまだ限定的であること等により、当第2四半期連結累計期間における国内アイウェア専門ショップ既存店売上高は前年同期を下回りました。国内アイウェア事業において更なる成長を実現していくためには、商品力の向上及び接客力、店舗マネジメント力の強化が必要不可欠と認識しており、引き続きこれらの諸課題に対してより一層注力してまいります。

店舗戦略につきましては、従来のショッピングモール形態での出店に加え、郊外ロードサイド型店舗の開発に注力し、その効果が今後顕在化していくものと考えております。

店舗展開につきましては、当第2四半期連結会計期間末におけるアイウェア専門ショップの店舗数は、国内直営店334店舗（出店13店舗、退店2店舗）、中国直営店124店舗（出店22店舗、退店1店舗）、米国直営店4店舗（出店、退店なし）の合計462店舗となりました。

売上高総利益率につきましては、国内アイウェア事業は、売上高に占めるセール構成比が増加する等、前年同期と比べ低下したものの、海外アイウェア事業は、調達先の見直し等により大幅に上昇し、結果として75.7%と前年同期比0.2ポイントの改善となりました。

売上高販売管理費比率につきましては、国内既存店売上高が伸び悩んだものの、各種費用を適切にコントロールしたことにより、67.1%と前年同期比で横ばいとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高25,294百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益2,177百万円（前年同期比7.8%増）、経常利益1,921百万円（前年同期比1.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,034百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

なお、海外連結子会社（海外アイウェア事業）につきましては、平成29年7月1日～平成29年12月31日を第2四半期連結累計期間として取り込んでおります。

セグメント業績の概況は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)	構成比	前年同期比
国内アイウェア事業	20,728百万円	81.9%	3.8%
海外アイウェア事業	3,273百万円	12.9%	41.2%
雑貨事業	1,293百万円	5.1%	△16.1%
その他	0百万円	0.0%	△18.0%
合計	25,294百万円	100.0%	6.2%

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 「その他」の区分は、全社部門等であります。

〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、絵本などでおなじみの「MOOMIN×JINS」シリーズが好調であった他、「ラバーモダン(smart)」、「エアフレーム(smart)」等の様々なスポット展開商品が順調な売れ行きとなり、総じて販売本数の伸びが顕著でありました。しかしながら、平成29年9月より発売した秋冬物の新作「JINS×TIME」シリーズの販売不振、売上に占めるセール構成比の増加及び低価格商品への偏り、天候不順等の外部要因も重なり、国内アイウェア専門ショップにおける既存店売上高は前年同期を僅かながら下回る結果となりました。

一方、平成29年11月にリリースした「JINSオリジナルアプリ」がお客様より好評を頂き、平成30年1月には累計ダウンロード数が50万件を突破しました。また、平成29年12月には1日使い捨てコンタクトレンズ「JINS 1DAY」の発売によりコンタクトレンズ事業に参入する等、新たな取り組みを開始いたしました。

店舗展開につきましては、概ね計画通りに進捗し、国内直営店舗数は334店舗となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高20,728百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益2,326百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国における競争環境が激しさを増しているものの、模倣店との差別化を浸透させながら、既存店売上高が確実に伸長したこと及び新規出店が加速したこと等から同地域における黒字積み増しが図れております。

米国においては、米国向けデザイン商品の投入及び店舗オペレーションの改善等により既存店売上高が大幅に増加し、また、レンズの調達先変更により売上高総利益率も上昇したことで収益構造が改善しております。

なお、平成29年12月にフィリピンにて小売店舗を多数運営しているSuyen社との間でフィリピンにおけるビジネスモデル及び両社間の役割についての検討推進のために覚書を締結し、平成30年3月に同社とフランチャイズ契約を締結、フィリピン第1号店を開店する運びとなりました。当社の海外進出は4地域目、フランチャイズ形態での海外出店は初となります。

店舗展開につきましては、海外直営店舗数は128店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高3,273百万円（前年同期比41.2%増）、営業損失15百万円（前年同期は営業損失228百万円）となりました。

〈雑貨事業〉

雑貨事業につきましては、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業の収入により構成されております。

雑貨事業を取り巻く環境は、通販サイト及び中古市場の台頭等により厳しさが増しており、当社グループの業績も少なからずその影響を受けております。市況の変化に対応できるよう店舗オペレーション及び商品戦略の見直しを行い、業績の回復に注力してまいります。

店舗展開につきましては、メンズ雑貨専門ショップ21店舗（出店1店舗、退店なし）、レディース雑貨専門ショップ18店舗（出店1店舗、退店3店舗）となりました。

以上の結果、雑貨事業の業績は、売上高1,293百万円（前年同期比16.1%減）、営業損失133百万円（前年同期は営業利益47百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	平成29年8月期末 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結 会計期間末 (平成30年2月28日)	増減	増減率(%)
総資産	30,354	29,650	△703	△2.3
負債	12,838	11,910	△928	△7.2
純資産	17,515	17,739	224	1.3

(イ) 資産

流動資産は、13,977百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,718百万円減少いたしました。

これは主に、商品が1,066百万円増加したものの、現金及び預金が2,877百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、15,594百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,034百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い建物及び構築物等の有形固定資産が885百万円増加したこと、敷金及び保証金が91百万円増加したことによるものであります。

繰延資産は、78百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。

これは主に、開業費の償却を行ったことによるものであります。

以上により、総資産は、29,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ703百万円減少いたしました。

(ロ) 負債

流動負債は、8,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,143百万円減少いたしました。

これは主に、未払法人税等が525百万円減少したこと、買掛金が443百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、3,725百万円となり、前連結会計年度末に比べ214百万円増加いたしました。

これは主に、資産除去債務が230百万円増加したことによるものであります。

以上により、負債合計は、11,910百万円となり、前連結会計年度末に比べ928百万円減少いたしました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、17,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ224百万円増加いたしました。

これは主に、配当金の支払いにより863百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,034百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月期通期の連結業績予想につきまして、平成29年10月12日に発表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成30年4月5日発表の「平成30年8月期 第2四半期(累計)及び通期業績予想の修正のお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,860	3,983
受取手形及び売掛金	3,305	3,056
商品及び製品	4,310	5,376
原材料及び貯蔵品	196	290
その他	1,023	1,271
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	15,696	13,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,128	6,903
その他(純額)	1,764	1,875
有形固定資産合計	7,893	8,779
無形固定資産		
投資その他の資産	1,867	1,879
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,744	3,835
その他	1,054	1,100
投資その他の資産合計	4,799	4,936
固定資産合計	14,559	15,594
繰延資産		
開業費	98	78
繰延資産合計	98	78
資産合計	30,354	29,650

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,655	1,211
短期借入金	1,900	2,421
1年内返済予定の長期借入金	386	379
未払金及び未払費用	2,512	2,313
未払法人税等	1,360	834
資産除去債務	20	20
その他	1,491	1,003
流動負債合計	9,327	8,184
固定負債		
長期借入金	1,560	1,407
資産除去債務	187	417
その他	1,762	1,900
固定負債合計	3,510	3,725
負債合計	12,838	11,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,179	3,179
利益剰余金	11,167	11,338
自己株式	△1	△1
株主資本合計	17,547	17,719
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△32	20
その他の包括利益累計額合計	△32	20
純資産合計	17,515	17,739
負債純資産合計	30,354	29,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	23,820	25,294
売上原価	5,824	6,143
売上総利益	17,996	19,151
販売費及び一般管理費	15,976	16,974
営業利益	2,019	2,177
営業外収益		
受取利息	2	4
受取賃貸料	10	7
その他	8	6
営業外収益合計	21	17
営業外費用		
支払利息	88	80
支払手数料	2	0
為替差損	39	50
不動産賃貸費用	—	120
開業費償却	16	17
その他	0	3
営業外費用合計	148	274
経常利益	1,892	1,921
特別損失		
倉庫移転費用	—	41
固定資産除却損	117	121
減損損失	211	—
店舗閉鎖損失	18	4
その他	0	4
特別損失合計	346	172
税金等調整前四半期純利益	1,545	1,748
法人税、住民税及び事業税	751	700
法人税等調整額	△100	13
法人税等合計	651	714
四半期純利益	894	1,034
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	894	1,034

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	894	1,034
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	185	53
その他の包括利益合計	185	53
四半期包括利益	1,079	1,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,079	1,087
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	19,960	2,318	1,541	23,820	0	—	23,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	—	—	41	—	△41	—
計	20,001	2,318	1,541	23,861	0	△41	23,820
セグメント利益又は損 失(△)	2,200	△228	47	2,019	0	—	2,019

(注) 1 「その他」の区分は、全社部門等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外アイウェア事業」セグメントにおいて、米国旗艦店(カリフォルニア州サンフランシスコ市)の減損損失を211百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	20,728	3,273	1,293	25,294	0	—	25,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	—	—	38	—	△38	—
計	20,766	3,273	1,293	25,333	0	△38	25,294
セグメント利益又は損 失(△)	2,326	△15	△133	2,177	0	—	2,177

(注) 1 「その他」の区分は、全社部門等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「その他」で区分していた雑貨事業について、量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で記載しております。